

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成29年度～令和1年度 進捗	点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	防災体験施設(水中歩行体験、水没ドア開閉体験装置)を活用した防災学習を平成29年度～令和元年度の間で計6回実施した。桂川沿川では、令和元年1月に横大路小学校で113名が参加し防災体験学習を実施した。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	桂川クリーン大作戦を実施した。参加者数は3千名を超え、参加団体も増加傾向にある。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、3年間で743回(桂川では77回)、住民等と交流を行った。	
	4		子ども達の関わり方の促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	淀川沿川の中学・高校生を対象にした水生生物調査を継続的に実施。平成29年度～令和元年度で107名が参加。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	SNSでの情報発信を継続するとともにVR技術を活用した浸水情報の発信を行った。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民・住民団体との交流内容	進捗あり	嵐山地区の地元住民に対して、事業へのさらなる理解促進のため、治水事業の必要性を説明するだけでなく、流域に雨が降って洪水が川に流れてくる仕組みや、ダムの効果・操作ルールといった川に関する基礎知識についても丁寧に説明した。また、可動式止水壁の実証実験や試験施工の視察にも積極的に参加いただいた。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	—	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗なし	—	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	—	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破壊氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまごちとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	平成29年度から令和元年度で140箇所のまるとまごちとハザードマップの設置・更新を行った。これにより令和元年度末時点での桂川沿川での設置数は40箇所となった。	
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	淀川管内水害に強い地域づくり協議会の令和元年度の開催実績は、首長会議2回、行政WG2回実施し、関係機関との連携を図った。	
12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	平成30年6月9日、日吉ダムの水を利用している向日市・長岡京市・大山崎町の住民を対象に「水の恵み見学ツアー」を開催した。当日は17名の参加者が水源施設である日吉ダムと乙訓浄水場の施設を見学され、水道用木、ダムの目的・役割について学び、水の大切さを実感頂いた。		
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数(下流域(湛水区間)、下流域(流水区間))	該当なし		
	14			ナカセコカワノナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容(中流域宇治川)	該当なし		
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容(上流域(盆地～源流部)木津川)	該当なし		
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数(中流域宇治川)	該当なし		
	17			生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	該当なし	
	18			外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗なし	
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容(上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む))	該当なし		
	20		良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	桂川においては、平成29～令和元年度で約5,300㎡の不法耕作を是正した。平成28年度の不法耕作面積は約3.4万㎡であったが、令和元年度では、約2.9万㎡となり、減少傾向となっている。桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっており、この問題の解決に向けた取り組みとして、バーベキュー有料化により利用者から頂く料金をもって周辺環境の改善を試みるための社会実験を実施した。	
	21		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数(上流域(山間部)宇治川～瀬田川)	該当なし			
	22		河川の連続性の確保	河岸-陸地の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数(下流域(湛水区間))	該当なし	
	23			ヨソ原の保全・再生内容・面積(下流域(感湖区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川)	該当なし		
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・差工の改良内容	進捗あり	桂川3号井堰において水叩き部に迷入するアユを遡上させるために、魚道側面からの遡上ルートを確認した。左岸魚道は、平成30年度に側壁の切り欠き改良を行い、令和元年度には流量抑制のための簡易改良を行った。
	25		川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容(下流域(湛水区間))	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容(上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む))	該当なし		
27	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容(上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む))	該当なし					
28	流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数(上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川)		該当なし			
29	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし				
30	流域の視点に立った水循環・物質循環の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗なし			
31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容(上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む))	該当なし			
32		琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果(上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む))	該当なし				
33		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	桂川のBOD年平均値は、近年、2.0mg/l未満である。また、重金属、ダイオキシン類の有害物質調査でも、基準値未満を維持している。		
34		ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	ダム流入河川とダム下流河川の水質に大きな差は生じていない。また、濁水放流については、日吉ダム濁水対策マニュアルに基づき対応により、長期濁水は軽減されている。			

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成29年度～令和1年度 進捗	点検結果	
流域管理に向けた継続的な施策展開	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方針の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗なし		
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし		
	37		モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	4号井堰撤去後1年目のモニタリング調査(魚類)では、堰撤去後に止水、縦流域を好む6種が未確認となった。一方、瀬周辺を好むアジメドジョウが新規に確認された。	
	38			生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工した。4号井堰撤去については、平成29～30年度に各年度において右岸、左岸を分けて撤去した。この撤去工事の際に、仮設切後の生物調査を行い、逃げ遅れた水生生物を捕獲し、工事影響のない場所へ放流した。この対策により工事による生物への影響を軽減した。なお、右岸側撤去工事前には、地元住民と共に水生生物の捕獲及び同定調査を行った後、採集した生物の放流を行った。	
	39			関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	地元、学識者、関係機関との調整の結果、国・京都府・京都市の行政三者が嵐山地区における当面の治水対策の方向性(平成16年洪水を安全に流下させるための方策)を平成30年12月にとりまとめた。
	40			河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	桂川の洪水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。淀・桂川グラウンドは平成27年度から始まった桂川緊急治水対策事業により占用面積が大幅に減少した。京都市において、従来のような運動広場としての利用に加え、河川(レンジャー)の協力を得た河川の自然環境を活かした植物や昆虫の観察イベント等の利用の検討を実施。
	41			河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」は、整備局・地方公共団体等の職員および民間技術者の技術力向上を目的として毎年開催。
	42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗なし			
	治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	沿川住民を対象に「もし大水害が追ったら、大切な地域を守れますか?」と題して、気象キャスターネットワーク事務局から災害に備えて天気の様子や予報の読み方を分かりやすく講演いただいた。講演中は熱心にメモを取る参加者が多く、定期的な開催要望や非常に為になったとの意見をいただき、また聴講者70人へのアンケート調査によると83人(75%)の方から講演は「大変参考になった」との評価を頂いた。
		44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有のための情報伝達体制	進捗あり	桂川または小畑川の洪水時における避難確保計画作成に向けて、各施設の浸水深の提示や避難箇所を確認した。市役所にて施設管理者と行政機関が対面で、計画の必要性やポイントを説明し、その場で計画が作成できるよう個別支援を実施した。
45		ハザードマップの作成内容・フォローアップ			進捗あり	浸水想定区域指定を規定する水防法が、平成27年7月に改正。これに合わせ、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」公表(H27)、「水害ハザードマップ作成の手引き」改正(H28.4)された。淀川管内では、平成14年に作成した「洪水浸水想定区域図」を更新し、平成29年6月に「想定し得る最大規模」の降雨に対応した新しい「洪水浸水想定区域図」、あわせて、「浸水継続時間」「家屋倒壊等氾濫想定区域」を公表した。	
46		マイ防災マップの作成状況			進捗あり	各自自治体が「マイ防災マップの作成手引き書(案)」に基づき、取り組む住民参加型のマイ防災マップ作成の支援を実施。	
47		地下空間の浸水被害への対応状況			進捗なし		
48		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承			進捗あり	大山崎町では、住民を対象に、地域防災の要として「自助」「共助」の重要性を地域に広め、防災活動の活性化に寄与していただく人材を育成することを目的とした、防災伝道師養成講座を開催。	
49		水防拠点整備の内容・箇所数			進捗なし		
50		公共施設の耐水化等の支援内容			進捗なし		
51		水害に強い地域づくりに向けた取組内容			進捗あり	沿川住民を対象に「もし大水害が追ったら、大切な地域を守れますか?」と題して、気象キャスターネットワーク事務局から災害に備えて天気の様子や予報の読み方を分かりやすく講演いただいた。講演中は熱心にメモを取る参加者が多く、定期的な開催要望や非常に為になったとの意見をいただき、また聴講者70人へのアンケート調査によると83人(75%)の方から講演は「大変参考になった」との評価を頂いた。	
52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施			流域全体の総合的な治水の取組内容	該当なし	
堤防強化の実施	53		堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	平成29年度～令和元年度の間でOmの浸透対策、Omの侵食対策を実施した。残りOmの浸透対策、Omの侵食対策を引き続き実施する。	
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし		
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了		
56	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	桂川の直轄管理区間においても、淀川本川が有する治水安全度を人為的に低下させないよう、貯留施設や淀川本川の改修状況をふまえて河道掘削等を実施。			
57	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	事業の進捗により、令和2年度で平成25年台風18号と同規模の流量が流下した場合においても、堤防越水を回避できる見込み。また、平成30年7月洪水についても、久我地区において洪水位を計画高水位以下まで低減できる見込み。		
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし			
59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし			
60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	日吉ダムは、平成30年台風20号において約1,480万立方メートル(京セラドーム大阪約12杯分)を貯留したことにより、ダム下流の保津橋地点の河川水位を約2.16メートル以下低減し、はん濫危険水位の超過を回避した。		
61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし			
62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし			

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成29年度～令和1年度 進捗	点検結果		
地震・津波対策	63		地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし			
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了			
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし			
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし			
	67			津波対策事業の実施	陸間の確実な操作のための取組	該当なし		
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権量の見直しを行っている。また、慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っているものの、平成28年以降、水利権許可の実績はない。		
	69			効率的な水利用の促進	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。		
	70			安定した水利用が出来ていない地域の対策	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業を実施中		
	71			渇水への備えの強化	進捗あり	今後、利水者との意見交換を行いつつ、渇水調整方法について利水者の意向を確認しながら検討を進めていく。渇水対策容量の確保については、中長期的な利水の動向を勘案しながら、淀川水系の水利用が近畿圏の産業と経済を安定的に支えることができるように、今後、近畿地方整備局において必要な措置を検討していく。		
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取組内容	該当なし			
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし			
	74			川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに14箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行った結果、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において平成29年度～令和元年度にかけて無事故であった。	
	75			「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	桂川流域の小学校等を対象として、桂川周辺の現地へ赴き、たも網を使って魚の捕獲体験。捕った魚の魚種、特徴を解説。外来種、在来種の説明。また、桂川の説明や川遊びの注意事項について啓発を行った。	
	76			陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取組内容	進捗あり	桂川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。淀・桂川グラウンドは平成27年度から始まった桂川緊急治水対策事業により占用面積が大幅に減少した。京都市において、従来のような運動広場としての利用に加え、河川レンジャーの協力を得た河川の自然環境を活かした植物や昆虫の観察イベント等の利用の検討を実施。	
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	桂川においては、平成29～令和元年度で約5,300㎡の不法耕作を是正した。平成28年度の不法耕作面積は約3,470㎡であったが、令和元年度では、約2,970㎡となり、減少傾向となっている。不法作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。また不法耕作地については、河道掘削工事の実施に伴い是正を行った。		
	78			憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗なし	
	79					小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	
	80					迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっており、この問題の解決に向けた取り組みとして、バーベキュー有料化により利用者から頂く料金をもって周辺環境の改善を試みるための社会実験を実施した。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	桂川管内では、平成28年度には4人、平成29年度～令和元年度は2名のホームレスの存在を把握している。		
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取組	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	可動式止水壁の工事着手にあたり、令和元年12月には地元はじめ関係者を招いて起工式を開催。工事初年度は、可動式止水壁の基礎コンクリートの打設及び上流端のスイングゲートを施工。沿川店舗の営業に配慮しながら、初年度に予定している部分の工事を完了。			
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし				
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を実施した。令和元年度の堤防及び護岸、鋼矢板護岸の点検結果は、要監視段階が5区間、予防保全段階が1区間、措置段階が0区間であった。同じく樋門等の点検結果は、要監視段階が5施設、予防保全段階が0施設、措置段階が0施設だった。		
	86			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	日吉ダムは完成後22年が経過しており、計画堆砂量8,000千m3のうち、令和元年度末における堆砂量は約2,483千m3であり、堆砂率は約31%となっている。平成29年度～令和元年度、ダム上流部において約7千m3の堆砂除去を実施。		
	87			許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。要補修箇所が無いことを確認。令和元年度の点検結果は、73箇所の施設を点検し、要補修箇所は0箇所だった。	
	88			河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	桂川全体で386千㎡樹木があり、平成30年度～令和元年度にかけて、38.9千㎡伐採した。これによって、対岸までの見通しを確保できたことで河道内の状況を把握できるようになった。		
	89			河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	R1年度に、嵐山地区下流右岸の内湾側に堆積した土砂の除去を実施(約1.7万m3)。みお筋の偏流改善・深掘れ緩和を図った。引き続きモニタリングを継続。	
	90			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	警告看板設置やホームページへの掲載により、不法投棄の啓発活動を行っているが、今後も引き続き、ゴミの不法投棄対策を進めていくとともに、効果的な対応策の検討を進めていく。		